

国際農業開発学特別演習（8単位）

担当者氏名 指導教員全員

◆学習・教育目標（到達目標を記載）

国際農業開発学専攻における熱帯作物学、熱帯園芸学、熱帯作物保護学、農業環境科学、農業開発経済学、農業開発政策・普及論、地域農業開発論の各専門分野を理解するとともに、それらの中から選んだ各自の研究テーマについて担当教員の指導を受けて研究を進め、その成果を専攻内発表会で報告するとともに、修士論文として取りまとめることにより、高度な専門性を有するスペシャリストとしての能力を養うことを目的とする。

◆取り扱う領域（キーワードで記載）

修士論文作成

◆授業の進行等について

	テーマ	内容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1	研究計画発表	研究計画の立案とその計画に関する計画発表会での報告をおこなう。 学内外における調査、実験などによる研究の遂行をおこなう。その際、先行研究の検討、学会への参加や他機関の研究者との意見交換、指導教員との綿密な連携をもとに研究を遂行する。	修士論文作成までの各段階において指導教員のアドバイスを得るとともに、自らが策定したタイムスケジュールに沿って計画的に研究および論文執筆をおこなう。
2	研究計画発表		
3	研究の遂行		
4	研究の遂行		
5	研究の遂行		
6	研究の遂行		
7	研究中間報告	研究の途中経過をまとめ、その成果を中間発表会で報告する。	
8	研究中間報告		
9	修士論文作成		
10	修士論文作成	中間報告までの成果と報告会で得られた意見等を参考にしながら、修士論文作成に向けてさらなる実験や調査をおこなう。担当教員の指導を受けながら修士論文の執筆を進め、最終報告会までに論文の草稿を完成させる。	
11	修士論文作成		
12	修士論文作成		
13	修士論文作成		
14	修士論文最終報告		
15	修士論文最終報告	研究の最終成果を修士論文発表会で報告し、そこでのコメント等をもとに修士論文の最終稿を完成する。	

◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料）

書名／著者／発行所（発行年）

授業中に指定する。

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所（発行年）

授業中に指定する。

◆評価の方法（レポート・小テスト・試験・課題等のウエイト）

修士論文の内容によって評価する(100%)。

◆オフィスアワー

質問等があれば随時担当教員にコンタクトすること。

◆その他受講上の注意事項

博士前期課程2年次の必修科目である。